



石垣島ITUトライアスロンワールドカップレース直前情報 約2,000名のアスリートが石垣島に集結

今年新設のエイワッド部門に注目が集まる

4月25日(土)、沖縄県石垣市の大濱信泉記念館で、翌26日(日)に開催される石垣島ITUトライアスロンワールドカップ／石垣島トライアスロンに先立ち、有力選手の記者発表が行われた。司会は山本光宏JTU事業・広報委員会副委員長。

まず、ワールドカップに出場する海外と日本ナショナルチームの男女各1名ずつが登場。海外からは今年のムールラバITUワールドカップで4位に入賞したニッキー・サミュエルズ(ニュージーランド)、石垣島大会で3連覇を成し遂げたカートニー・アトキンソン(オーストラリア)、日本選手は女子は北京オリンピックで5位入賞の結果を残した井出樹里(トーチンパートナーズ・チームケンズ)、男子は昨年の日本トライアスロン選手権東京港大会で3連覇を達成した田山寛豪(NTT東日本・NTT西日本／流通経済大学職員)が参加。

続いて、日本ナショナルチームによる記者発表が行われた。出席した選手は、女子が井出、庭田清美(アシックス・ザバス)、上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、田中敬子(NTT東日本・NTT東日本・NTT西日本／スカイタワー58)、足立真梨子



司会の山本光宏JTU事業・広報委員会副委員長と有力選手

井出 樹里

トーチンパートナーズ・チームケンズ



北京オリンピック5位という結果には悔いが残るが、応援してくれる皆さんの笑顔が見たかったので、それを果たせたことは嬉しい。今大会でも、応援してくれる皆さんの思いを背負ってレースに挑み、皆さんが笑顔になるような結果を残したい。

田山 寛豪

NTT東日本・NTT西日本／流通経済大学職員



拠点と所属を変え、自分でいろいろなパターンを考えてトレーニングをしている。その結果が今大会でどう出るか楽しみ。オリンピックの借りはオリンピックで返す。そのためのスタートを石垣で迎えられるのは嬉しい。今年はずいことをする。

ニッキー・サミュエルズ

ニュージーランド



ロンドンに向けてのシーズンを石垣島で始められることは嬉しい。日本でのレースはすばらしいサポート体制があるため、レースに集中しやすい。明日はどんなレース展開になるかわからないが、良いレースをしたい。

JTU Official Partners & Official Suppliers



(トーチンパートナーズ・チームケンズ)、男子が田山、山本良介(トヨタ車体)、細田雄一(グリーンタワー・稲毛インター)、そしてホープ枠として現在高校3年生の椿浩平(チームブレイブ)の男子。

それぞれが大会に向けての意気込みを述べたあと、山根英紀エリート強化委員長より「このメンバーにもう一人のホープ枠である佐藤優香(チームケンズ)を加えた10人で、3年後のロンドンオリンピックでのメダル獲得を狙っていく」との話があった。



それぞれが大会への思いを語った

カートニー・アトキンソン

オーストラリア



またこの魅力的な石垣島に戻り、レースを行えることができ嬉しい。オリンピックという重荷が取れて楽になったので、ムールラバではいい結果を残せた。オリンピック後のレースは自分にとって大切なものだ。

庭田 清美

アシックス・ザバス



石垣島大会に出場して、今年で13年目となる、深い思い入れのあるレース。長く競技をしていると、結果は別として、挑戦する気持ちが収穫になるとわかる。今回も、若い人に負けないように最後まで頑張りたい。

上田 藍

シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター



今回の石垣島大会は約2,000人という多くのアスリートが集う大会になる。皆さんをわくわくさせられるようなレースをしたい。自分の精一杯の力を発揮して結果に繋げる。また、今年は自分の苦手なことにも挑戦していきたい。

田中 敬子

NTT東日本・NTT西日本/スカイタワー58



初めてワールドカップに出場して完走できたのが4年前の石垣島大会で、いい結果が残せた。明日のレースでもそのときの気持ちを思い出し、とにかく積極的に、挑戦者のつもりで一生涯懸命走りたい。

足立 真梨子

トーチンパートナーズ・チームケンズ



初めてトライアスロンに出場したのが2003年の石垣島大会のエイジ部門。その際にワールドカップを見て、「この舞台に立ちたい」と思った。明日は応援してくれる方々の力を借りて、自分の力を精一杯発揮したい。

山本 良介

トヨタ車体



2012年のロンドンオリンピックで1位になることだけを目標に戦っていききたい。良いスタートを切れるようにするだけ。まだまだチャレンジャーという気持ちでレースに挑みたい。そのために、1レースずつ大切にしたい。

JTU Official Partners & Official Suppliers



最後に、石垣島トライアスロンに出場するエイジグループの選手の会見が行われた。昨年度のエイジグループランキング1位の松本華奈(島根県協会)、福元哲朗(広島県協会)のほか、地元石垣市の高校生で結成されたりレーチーム・ランズアクティブサポートのメンバー、宍田智大、長谷川聖仁(ともに八重山農林高校)、永尾蓮(八重山高校)の3名と、前回大会で石垣市内1位の金城さち、福士知孝(ともに沖縄県連合)、さらに今年新設されたエイウッド(AWAD:車いす)部門から廣道純(TDKラムダ)が会見に参加。大会に向けての意気込みを述べるとともに、石垣島大会への思い、そして石垣島の魅力を語った。

なお、石垣島トライアスロンの競技開始は午前7時40分、ワールドカップ(エリート)の競技開始は女子が午後1時15分、男子が午後3時45分となっている。



日本人初の石垣島大会制覇に向けて健闘を誓い合う
日本ナショナルチームのメンバー

細田 雄一

グリーンタワー・稲毛インター



石垣島大会には7回連続の参加で、毎年「おかえり」と言ってもらえることが嬉しい。前回の北京を機に、「オリンピック」という言葉がとても魅力的に聞こえるようになった。明日のレースは表彰台を目指して走り抜きたい。

椿 浩平

チームブレイブ



石垣島に来たとき、島全体で大会を盛り上げようという雰囲気を感じられた。その大会に代表として参加できるのは嬉しい。エリートとしての第一歩となるレースを最高のものにして、良いスタートを切りたい。

廣道 純

TDKラムダ



車いす部門は一人だが、健常者を何人倒せるかという気持ちで参加しているから、最初から全力でやっていきたい。トライアスロンはさまざまな垣根を越えた競技であるという言葉がとても印象に残っている。

宍田 智大

ランズアクティブサポート



八重山農林高校で水泳部に所属。石垣島の高校生だけのチームでスイムを担当。目標は21分台。石垣島は緑が多く、海の色もきれいなコバルトブルーがとても印象的である。

JTU Official Partners & Official Suppliers



長谷川 聖仁

ランズアクティブサポート



八重山農林高校で、自転車部に所属している。バイクを担当。3人で優勝を目指したい。目標タイムは1時間7分。石垣島は一年中温かく、雪も降らないのでとても良い環境。

長尾 蓮

ランズアクティブサポート



八重山高校で駅伝部に所属。ランを担当。スイムとバイクの二人の頑張りを引き継いで、1位でフィニッシュできるように、精一杯走りたい。目標タイムは32分。石垣島は温かい気候のため、トレーニングがしやすい。

金城 ちせ

沖縄県連合



石垣島大会ばかりに出場して今年で14回目になる。今年のレースもどうなるかわからないが、良い結果が出せればいいと思っている。石垣島大会は宿泊所も近く、全体がコンパクトであることが魅力。

松本 華奈

島根県協会



トライアスロンを始めて10年、毎年石垣島大会に参加している。今回は大規模の大会になるということで、とても楽しみにしている。自分がレースを楽しんだあと、ワールドカップを見ることができるのが、この大会の魅力。



石垣島への思い、そして大会への思いを語ったエイジグループの8名

福士 知孝

沖縄県連合



今大会では、島内での1位、全体でも20位以内を目標にしている。石垣島大会の魅力は、他の大会よりもリレー部門が盛んであること。気軽に参加できる大会だが、毎年大会を開催するかどうかもめるのが残念。

福元 哲朗

広島県協会



この大会には一言では言い表せないほどの思いがある。足を骨折していて、3カ月ほど走っていないが、石垣島大会のスタートラインにはどうしても立ちたかった。戦える状況をつくりつつ、大会に参加できるようにしたい。

JTU Official Partners & Official Suppliers

